

最近の競輪場再整備事例について

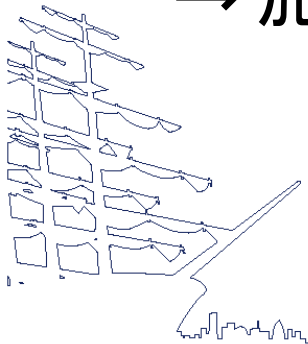


横浜商科大学
担当: 山本 将利



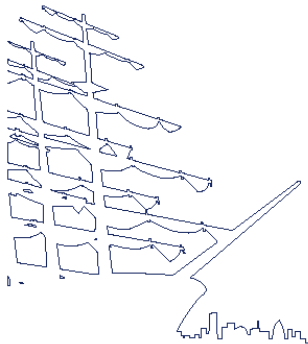
競輪場の再整備状況

- 1990年前後に多くの競輪場でメインスタンドの新築・改築が行われてきた。
- 1990年代から長期にわたる売上の低迷⇒競輪事業で収益が得られなくなった
- 施設整備を行う財源が得られなくなった
- 競輪事業が赤字の施行者も⇒廃止も視野に⇒施設はそのまま利用される

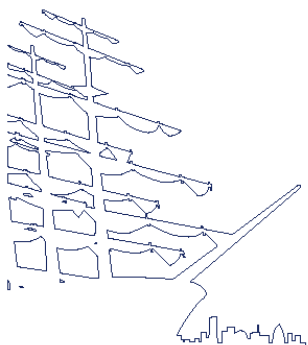
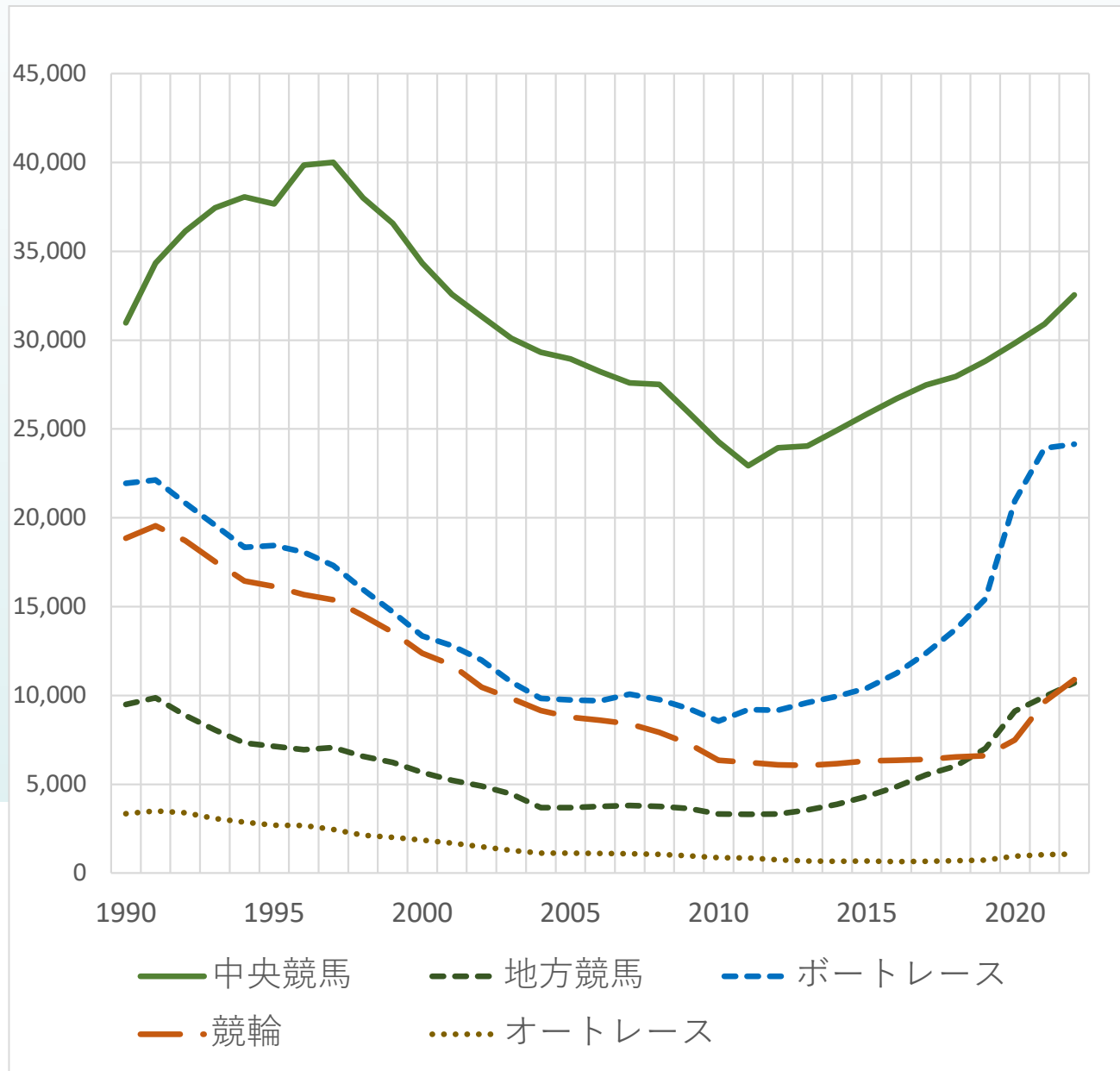


90年以降の全面的な整備の例

- 売上のピークかつ収益のピークであったことから十分な財源があった。
- 当時は、公共施設をはじめ、施設の建設に対して積極的な環境であった。
- バブル期に構想し、実現までに一定の期間がかかっている。



90年以降の公営競技売上推移(億円)



90年以降の全面的な整備の例

- 前橋競輪場（グリーンドーム）1990（平成2）年
- 小倉競輪場(北九州メディアドーム)1998(平成10)年
- 高知競輪場 1999(平成11)年（陸上競技場と併用）
- 京王閣競輪場 2000(平成12)年（参考：民間所有）
- 函館競輪場 2002（平成14）年
- 松山競輪場 2004（平成16）年（運動公園へ移転）
- いわき平競輪場 2006（平成18）年（移転構想があったが現地で建て替え）



2000年以降の全面的な整備の例

- 施設の老朽化、耐震への対応等
- 来場者の減少による施設のコンパクト化への対応
- 売上向上による整備財源が確保⇒部分的なリニューアルが進む
- 「競輪事業の収益を財源として整備」

2000年以降の全面的な整備の例

(メインスタンド)

- 宇都宮競輪場 2009 (平成21) 年
- 武雄競輪場 2016 (平成28) 年
- 平塚競輪場 2017 (平成29) 年
- 玉野競輪場 2022 (令和4) 年
- 熊本競輪場 2024 (令和6) 年予定

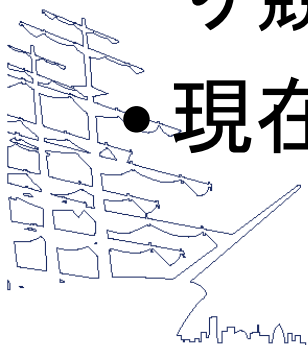
(選手管理棟)

- 豊橋競輪場 2018 (平成30) 年
- 大垣競輪場 2022 (令和4) 年
- 岐阜競輪場 2023 (令和5) 年予定

民間資金を活用した整備

<背景 1> 競輪事業の包括民間委託

- 施行者固有業務、競技実施業務以外の業務を一括して民間に委託すること
- 開催経費の削減策の一環として、各地で導入（2003年度から）
- 導入した競輪場の多くは、収支が赤字であり競輪存続策であった場合が多かった。
- 現在、26の競輪場で導入（2023年度）

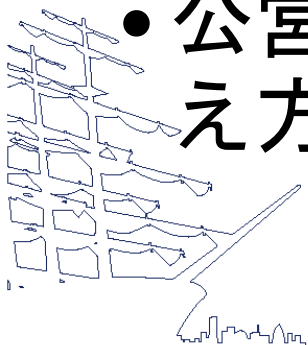


民間資金を活用した整備

<背景 2>

公共施設における民間活力導入の流れ
(PPP、PFIなど)

- PFI法の施行などにより、公共施設の整備に関して民間資金による整備が進みつつある（給食センター、学校の空調など）
- 公営競技施設にも導入できないかという考え方もあり

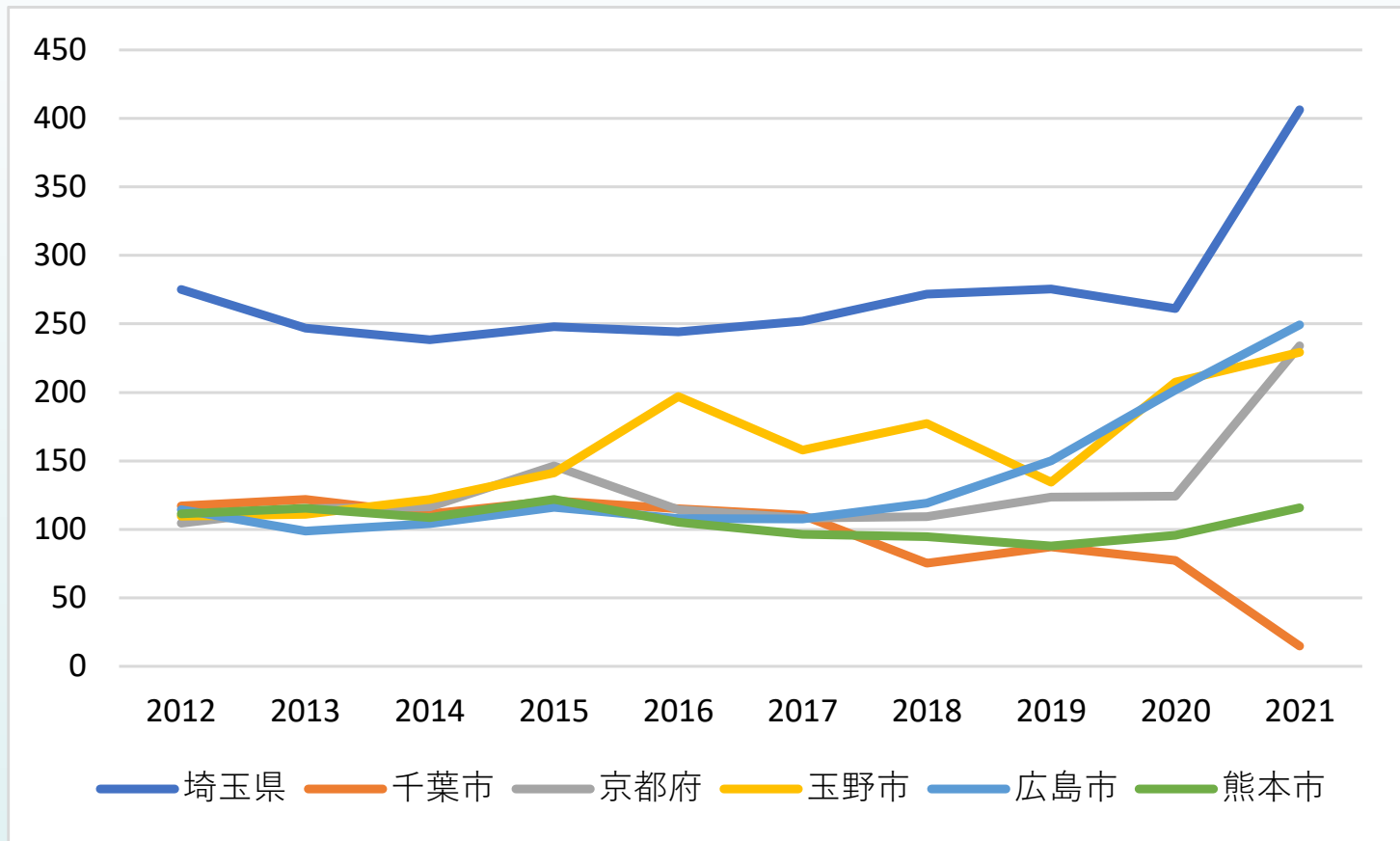


近年の整備状況

	千葉	広島	京都向日町	玉野	熊本
再整備の経緯	廃止表明に対する民間事業者の提案	施設老朽化90年代以降の整備なし	施設老朽化90年代以降の整備なし	施設老朽化90年代以降の整備なし	地震被害による再建
売上・利益の状況	長期低迷 繰出金最小限 廃止表明	長期低迷 過去に赤字 廃止検討 繰出金なし	低迷していたが、ミッドナイト競輪実施により順調 過去に赤字 廃止検討	ミッドナイト競輪を早期に実施し売上・利益ともに順調	被害前までは売上・利益ともに順調 黒字・一定の繰出金継続
包括民間委託	2013年度～	2015年度～ 2022年度事業者変更	2017年度～	2022年度～ (整備後導入)	直営（整備後導入見込）
整備手法	民間資金による整備	民間資金による整備	民間導入を検討中	一部施設（選手宿舎・選手管理棟）に民間資金を導入	競輪事業の財源で整備
特別競輪等の実施	1999年度日本選手権以降なし	1998年度、2003年度共同通信社杯 2008年度ふるさとダービー以降なし	2003年度ふるさとダービー、2007年度共同通信社杯以降なし	2000年度ふるさとダービー 2004年度、2009年度東西王座戦 2022年度サマーナイト	2002年度オールスター 2007年度全日本選抜 2011年度日本選手権

各種資料より筆者作成

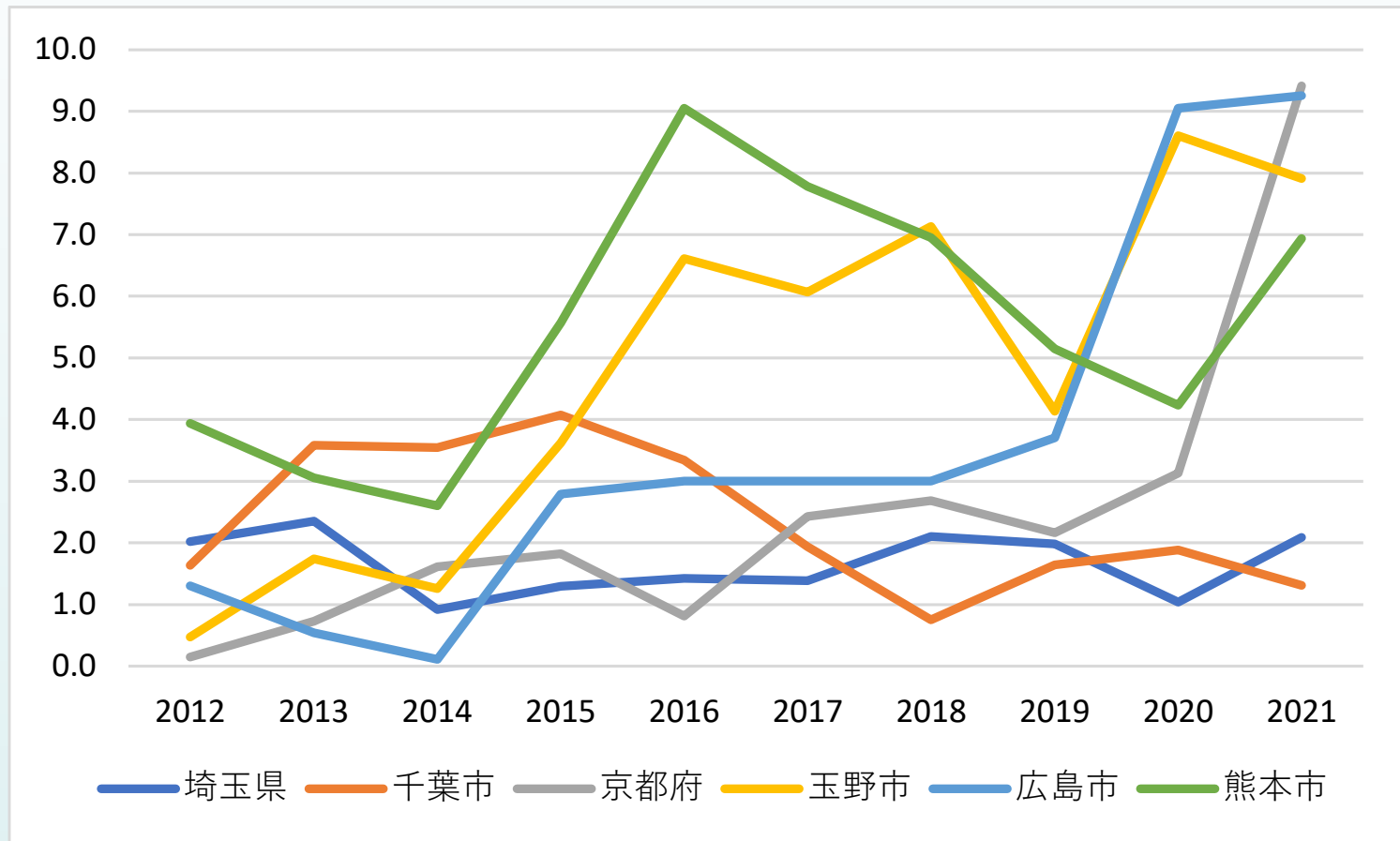
対象競輪場の売上推移



- 埼玉県 2016~西武園でミッドナイト競輪開始 2020年西武園記念競輪中止
- 千葉市 2018~2020千葉競輪場での開催なし
- 京都府 2021~向日町でミッドナイト競輪開始
- 玉野市 2015~玉野でミッドナイト競輪開始
- 熊本市 2016~熊本競輪場での開催なし



対象競輪場の収支推移



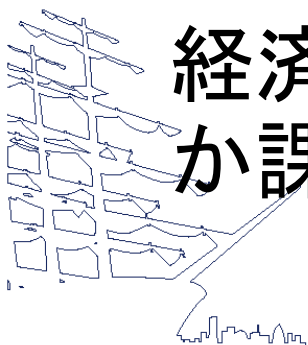
- 埼玉県 2007~包括民間委託
- 千葉市 2013~包括民間委託、2021~ 250競輪
- 京都府 2017~包括民間委託
- 広島市 2015~包括民間委託


(収益保証等による包括民間委託の効果もみられる)



民間資金を活用した整備

- 民間資金による施設整備⇒包括民間委託の受託事業者からの提案
- 民間企業は収益が得られる部分にしか投資しない⇒行政側に都合のよい民間は現れないと思ふべき
- 競輪場施設自体は収益施設ではない⇒収益を生む部分がなければ成立しない
- 民間資金の導入は、長期契約となり、社会経済環境の変化にどのように対応するのか
か課題





**ホテルとしての利用
地域事情に合わせた展開が必要**